

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 54	提案機関名 農業技術センター北相地区事務所 普及指導課
要望問題名 北相地区における春どり根深ネギの栽培法の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 神奈川つくい農協管内では、収穫期間が長く、収益的にもよい根深ネギの栽培に取り組む農業者が少しずつ増えている。主な作型は春まき秋冬どりであるが、春どり栽培などを含めて栽培できれば、経営的に有利と考えられる。根深ネギの栽培でもっとも困難な作型は、抽だいが問題になる春どり（4～5月どり）栽培である。他県でも本作型の検討はされているが、地域によって気候の差があることから、は種期などが異なっており、北相地区で春どり作型が成立するかどうかは、実際に栽培しないとわからない。 そこで、平成30年度に当所・普及指導課の調査研究圃場で、6月下旬は種、4～5月収穫のトンネル栽培の作型が成立するか検討したところ、抽だいや抑制が不十分であったが、白根の長さなどは収穫サイズに達しており、栽培の可能性はあると考えられた。より安定した作型として普及を進めるためには、晩抽だいや性品種の選択、は種期、トンネル資材の選択とかけ方など複数年での検討が必要であるため、研究課での検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 北相地区事務所研究課の対応をお願いします。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	北相地区事務所 研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) I-2(1)野菜類の高品質・安定生産技術の開発 エ 北相地域における野菜類の高品質・安定生産技術の開発		
対応の内容等	根深ネギの4～5月採りの作型としては、春播きにより冬季までに十分な大きさに栽培した晩抽性品種を、翌春の抽苔前に収穫する作型があります。また、9月以後に播種して冬季にトンネル栽培し、脱花芽分化及び肥大促進することによって5月以後に収穫することが行われています。しかしこれらの方法は、被覆期間、播種時期、品種の特性（花芽分化、抽苔特性、低温期の肥大特性等）が複雑に関与するため、地域における栽培を行って検証することが必要です。さらに、積雪への対策として、幅を小さくするトンネル設置方法がありますが、それにより津久井地域でネギの脱花芽分化が起きるかどうかは不明です。そこで、栽培方法、適応品種、使用資材等を検討し、津久井地域における春穫り（4～6月収穫）の根深ネギ栽培方法を確立します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			